

11月の安全指導について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。11月の安全指導は下記のとおりです。児童が自らの安全を確保するため、一人一人が「もしも」の意識をもつことが重要です。ご家庭でもあらためてご確認ください。

○実施内容1【不審者侵入時の対応を身に付けよう】

平成13年6月8日、大阪教育大学附属池田小学校で児童8名が殺害され、児童13名と教員2名が負傷した痛ましい事件がありました。この事件を教訓とし、本校でも防犯・防災の徹底に取り組んでいます。施設の構造上、本校に関係のない人間の敷地内への侵入を完全に防ぐことは難しいのが現状です。「もしも」の時に備え、教員のみならず児童一人一人の意識を高めるため、安全指導を行っています。また、不審者侵入時を想定した訓練を行う予定です。

日頃から放送をよく聞き、とるべき行動を判断できるようにする。

☆不審者侵入時の対応についての指導

- 1 校内放送を聞く…不審者の侵入があった時には、緊急対応の開始を知らせるための放送が入る。 **放送内容**「大きな荷物が〇〇(不審者が現れた場所)に届きました。」
- 2 落ち着いて行動する…不審者の存在を感じると、危険や恐怖から、冷静でいられなくなることが想定される。教員や周りの大人の指示の重要性を確認し、「怖いからこそ、落ち着いて安全な行動をとる必要がある」ことを理解する。
- 3 高い声を出さない…不審者が興奮状態にある場合、子供たちの高い声や大きな声の不審者を刺激する可能性がある。悲鳴によってさらに危険が高まったり、自分や友達の冷静さを失わせたりする可能性があることを理解し、不審者を目の当たりにした時の行動を意識できるようにする。
※大声で危険を知らせる必要がある場合には、「助けてー」とお腹から声を出すようにする。

○実施内容2【普段の生活の中で、安全な行動を考える】

友達と一緒に生活する中で、「これは危ない」「相手が嫌な気持ちになる」など、自分のとった行動で周りの人が困るような状況を作っていることはありませんか。相手や周りの人のことも考えて、安全な生活をしましょう。

☆これは危険につながる

- ▶上履きのかかとをふんで歩く。
- ▶人がたくさんいるところを走って通り抜ける。
- ▶座ろうとしている椅子を引いて、転ばせる。
- ▶体操着袋を振り回す。
- ▶人が歩いているところに足を出す。

☆これは相手がいやな気持ちになる

- ▶混んでいる昇降口で、周りの人にぶつかりながら進んでいく。
- ▶物を投げて人に渡す。
- ▶ランドセルや手提げなどを引っ張る。
- ▶扉の近くに人がいるときに、いきなり扉を閉める。